

市町村保健師の職業的アイデンティティの構造

背景: 健康問題の多様化・複雑化に伴い、保健師の働き方も変化し職業的アイデンティティの揺らぎが叫ばれているが、概念的なレベルでの研究は不足している。

目的: 市町村保健師が認識している職業的アイデンティティの構造を明らかにすること。

方法: グラウンデッド・セオリー・アプローチの手法を用い市区町村に勤務する25名の保健師に半構造化インタビューを実施。

結果:

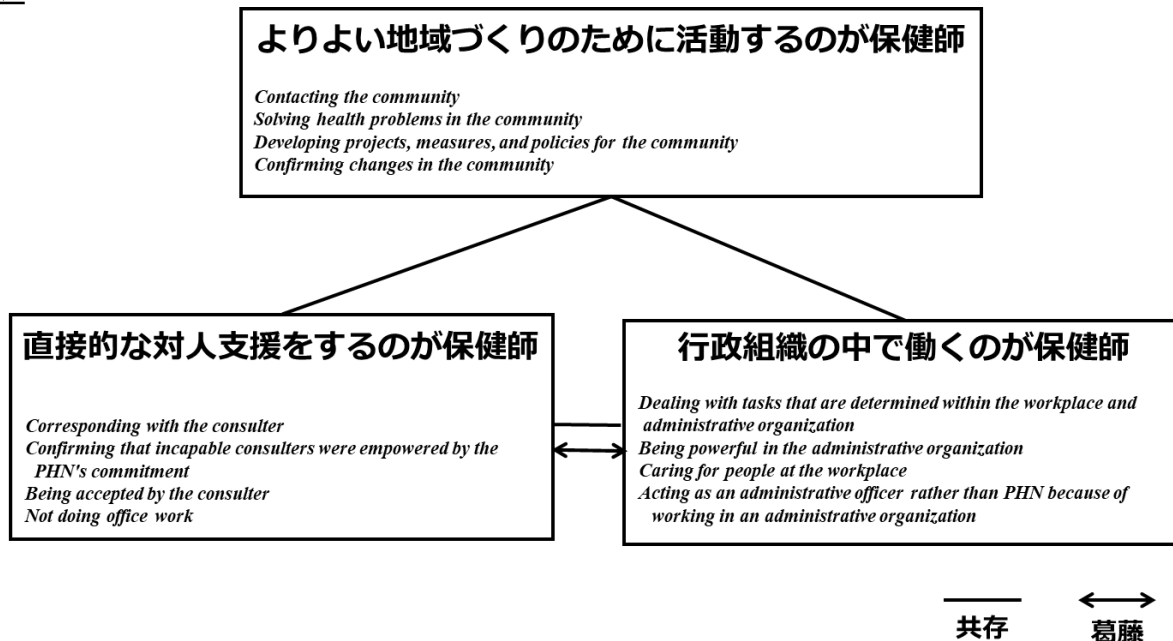


Figure 1. The structure of the perceived professional identity of Japanese public health nurses

結論

・保健師は本研究で明らかになった3つのアイデンティティとアイデンティティ間の葛藤の可能性を認識する必要がある。

・「よりよい地域づくりのために活動するのが保健師」である語りが少なかったことから、大学や現場が連携した地域ベースの教育がさらに必要である。